

科目名: <b>心理学</b>		科目コード	AB18
科目主査: <b>末崎 裕康</b>		単位	4
担当講師: <b>井島 由佳、川島 忍、小久保 正昭、末崎 裕康、阿部 廣二</b>		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>心理学というのは非常に奥深い学問であると同時に、私たちの日常生活に密接に関係する学問でもあります。心理学を学べば、自分や他人の心の動きや行動傾向も理解できます。また自分の生かし方も分かり、人付き合いも楽になります。しかし、いざ学び始めても、細分化された各領域の研究成果がバラバラに示され、人間理解に結びつきません。本科目では、教養を深めるために心理学を体系的に学びます。人間に対する広くて深い理解を身につけることは、洞察力を磨き、意思決定力を磨くことにもつながります。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読していることを前提として授業を進めます。よく理解できないところがあったら、マーキングしておきましょう。なお事前学習をチェックするためのテスト(成績は評価しない)を実施します。		
テキスト	『今日から使える心理学』渋谷 昌三, ナツメ社, 2013年		
この科目の到達目標	<p>①心理学の基本的専門用語の意味を理解し、正確にその概念を説明できる。          ②心理学の理論構成を理解し、人間の行動や現象を心理学の枠組みを用いて考察できる。</p>		
成績評価の方法	1日目授業終了後の課題と、最終試験を評価対象とします。いずれもiNetCampusで実施します。		
事後学習	心理学は実生活に深く関わりのある実学であると同時に、客観性を重視する科学でもあります。心理学はカバーする領域も幅広いので、繰り返し基礎学習を復習しつつ、各自の興味のある領域、例えばカウンセリングや社会心理学など焦点を絞り込んで学習しましょう。		
事後学習の参考文献	<p>『心理学—こころと行動のメカニズムを探る』越智 啓太, 樹出版, 2012年          『仕事で使える心理学』榎本 博明, 日本経済新聞出版社, 2014年          『決定版 おもしろいほどよくわかる! 心理学』渋谷 昌三, 西東社, 2016年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具		